

そよ風

- 1 2014 年 年頭のあいさつ
- 2 東大和療育センターフェスティバル
- 3 制作展 2013
- 4 第 3 回国際知的障害学術集会アジア大洋州地域会議・院内総合防災訓練
- 5 ハロウィン・院内研修
- 6～7 第 2 回テーマ別改善運動 (QC 活動) 院内発表会
- 8～9 クリスマス会
- 10 人事異動



■ ■ 2014 年 年頭のあいさつ ■ ■

院長 倉田 清子

あけましておめでとうございます。利用者及びご家族の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのことと思います。本年もどうぞよろしく願いいたします。

さて、職員の皆さんへのメッセージを、お伝えしたいと思います。

当センターの機能は、重症児者の入所と地域における重症児者の在宅療育支援が二本柱になっています。とりわけ在宅療育支援は、短期入所、医療入院、通所及び外来が有機的に連携し合って、地域にお住まいの方々のできるだけ長期の在宅生活を可能にするよう、機能していくことが重要です。

短期入所については、20 年前のセンター開設時に既に在宅支援を大きな目標に据え、28 床の入所枠が取り入れられました。将来を見据え、深い展望に基づいた方針が決定されていたのです。この短期入所に対する地域にお住まいの方々の期待は、大変大きなものがあります。ご家族から「本当に助かった」という感謝の言葉を伺って、院長としてスタッフの皆さんの日頃の努力に感謝し、また誇らしく思っています。しかし短期入所の利用率が 70% 台にとどまっており、「ベッドが空いているのに入所を断られた」というご家族からの訴えに、院長として大変申し訳なく思っています。当センターの職員は、「どうしたらお断りせずに、入所していただけるだろうか」という前向きな姿勢で、ぜひ考えて欲しいのです。

在宅支援のもう一つの要である通所事業も、ご家族の方々から大きく期待されている事業ですが、今年度の利用実績は 70% を下回ることが目立っています。こちらにも、職員の皆さんは、「どうしたら実績を増やせるのか」知恵を絞って考えて欲しいと願っています。

話は変わりますが、障害者権利条約が、国会で批准されました。この条約に合わせた国内法の改正の過程で、重症児施設は人権侵害で廃止すべきという声が上がりました。守る会は、重症児者の命を守るためには施設が必要であるという嘆願書を取りまとめ、11 万筆を超える署名を集めました。国際的・全国的流れとして、障害者の地域・在宅移行という大きな流れは阻止することができません。実際に重症児者のグループホームの試みもなされていますし、障害種別一元化の法改正の中で、施設入所が重症児者に限定することはできなくなってきました。

世の中のこのような大きな潮流を直視して、私たち職員は、考えを新たにしなければならないと考えます。特に指定管理という東京都の傘の下にいる私たちは、「都民の税金で活動していること」を肝に銘じていかなければなりません。社会の動きに右往左往するというのではなく、アンテナを鋭く立てて、しかも自分たちの本来業務をどのようにうまく遂行していくか、という観点を持ちたいものです。

■ 東大和療育センターフェスティバル ■

第 4 回東大和フェスタが終わって

実行委員長 倉田 暁

10月12日(土)、第4回東大和療育センターフェスティバルが開催されました。

今年も利用者のみなさま、ご家族、地域のみなさまに楽しんでいただけるように、いくつかのアトラクションを企画しました。屋内では巨大迷路やお化け屋敷、占いやストラップ作り、ネイルアート、そして合唱部の素敵な歌声を、屋外では毎回おなじみの動物たちとのふれあいやスクーターボードの搭乗体験、野外ステージでの音楽やファッションショーを楽しんでいただきました。中でも野外ステージは、さわやかな秋空の下で音楽を楽しんでいただこうと正面玄関前にステージを作りましたが、真夏のような陽ざしと暑さで日陰を探しながらのライブとなりました。それでも、インドネシアのガムラン音楽の珍しい楽器の音色やファンキーなサキソフォンカーズの演奏、和太鼓の響きを楽しんでいただきました。この場をお借りして、フェスティバルにご協力、ご参加いただいたすべてのみなさまに感謝いたします。



東大和フェスタを終えて

第 4 病棟指導員 阿部 禎夫

天候に恵まれる中、今年も第 4 回目となる東大和療育センターフェスティバルが開催されました。

今回私たち第 4 病棟では、「体全体で感じてもらおう！！」をコンセプトに企画を考案。そして、「見たり、聞いたり、触れられたり」しながら独特の怪しい雰囲気(?)を来場者の方々に楽しんで頂けるような、『占いの館』コーナーを 2 階の一角に設けました。

ここには 3 つの部屋があり、タロット占いの部屋には化粧バッチリで目ヂカラの強い黒装束の占い師が、足裏マッサージ占いはリフレクソロジー業者風の格好をした職人的リフレクソロジストが、そして音楽占いには渋谷で見かけそうな 10 代の若者風ファッションのピアニストが集結！！「何をしてくれるのかな・・・？」と期待に満ちた表情のお客さま方を決して裏切らないよう、それぞれの得意技を体験して頂いた後、『こんなん出ましたけど！！』とばかりに、占いの結果が書かれた『占い鑑定書』をプレゼント。「アピールポイント」「幸運な色・物」「2013 年度の傾向」などが書かれた内容に、皆様とてもご満足いただけただ様子でした。

当日はどのコーナーも盛況で、まさに占い師冥利に尽きる 1 日となりました。来年も楽しみましょう！！



制作展 2013

リハビリテーション科言語聴覚士 矢内 裕子

今年も、利用者さん全員の作品が展示され、センター内が賑やかになりました。ご本人の好きな物や手の動きを活かしてそれぞれの作品を作り上げています。

今回も多くの方々から貴重なご意見をいただきました。作品を通じて交流ができることに感謝して…明日からの原動力となる素敵なコメントを紹介させていただきます。

時々、作品展を見せ
て頂いていつもいつも感
激、感謝です。明るい色使い、
懸命に物づくりに頑張ったであ
ろう皆様に拍手拍手です。これ
からも良い作品作りを頑張っ
てくださいね。

(外来部門 保護者)



デザート付のお食事
が見事にテーブルに並んで
います。利用者さんも食べるこ
とは大好きだと思いますので楽し
みながら活動に参加されたと思いま
す (出来栄も素晴らしいです!)
きっと食欲も普段より増したの
では? (外来部門 保護者)



玄関の正面の美味
しそうな作品に駆け寄って
「わーおいしそう、どれがいいか
な」と言うのが娘の第一声でした。
心のこもった温かい作品の一つ一つ
が素晴らしかったです。制作中の皆
さんの表情も良いお顔ですね。応
援しています。頑張ってください
い。(外来部門 保護者)

どれも素晴らしい作
品です。みなさんの作っ
ている時の表情が笑っているか
真剣か、どちらも心をこめてい
るのがわかります。また、支え
る職員さんの笑顔もステキでし
た!感動しました!

(外来部門 保護者)



Tシャツのペイン
ト、すごく良くできてい
ました。他の作品も力作で
す。どれも!!来年も楽しみ
です。(入所部門 保護者)

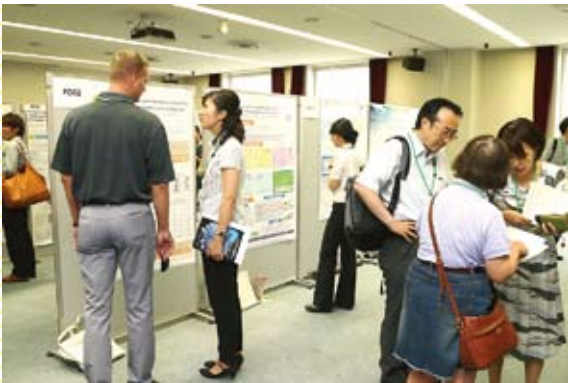
第 3 回国際知的障害学術集会アジア大洋州地域会議（東京）に参加して

医師 曾根 翠

第 3 回国際知的障害学術集会 (IASSIDD) アジア大洋州地域会議は 8 月 22 日 (木) から 24 日 (土) まで、早稲田大学で開催されました。前日の心身障害児総合医療・療育センター見学会では、どの参加者も声をかけたりスキンシップをしたりして利用者さんたちとごく自然に交流していました。開会式には秋篠宮殿下・妃殿下が行幸されました。最後に行われたダウン症候群の男性とお母様の演奏は素晴らしいものでした。



シンポジウム、ポスターでは、重度重複障害に関して健康面から倫理的な問題まで多岐にわたる発表がありました。当センターからは私とりハビリテーション科の亀井さんがポスター発表しました。23 日 (金) の夜には「重度重複障害児・者の生活を語る夕べ」が開催され、びわこ学園療育センター口分田政夫園長と私が日本の状況を発表した後、Anne Haddow 先生が、お嬢さんの歴史を交えながらスコットランドの状況を発表しました。先生の発表は 12 月の「両親の集い」に全訳が掲載されました。外国との交流は私たちの療育を異なった視点から見直す良い機会です。一緒に参加しませんか？



院内総合防災訓練

10 月 31 日 (木) 午前 10 時 30 分から大規模地震を想定した院内防災訓練を実施しました。

今回の訓練は、当センター事業継続計画 (案) の行動計画に沿った、冬場の午後 6 時に多摩直下型地震 (M 7.3 東大和市 震度 6 強) が発生したことを想定したものでした。日中時間帯に比べて勤務職員数が少なく、院長他幹部職員が不在の場合に当直医師がエントランスホールに災害対策本部を設置し、利用者・職員の安全確保、被害状況の報告、けが人等の対応、余震対策を行いました。



ハロウィン

第 3 病棟看護師 中川 由季江



ここ数年、街中で仮装したキッズたちを見かけたりと、すっかり

民間行事として定着しつつあるハロウィン。もともとは秋の収穫を祝い、悪霊などを追い出す宗教的な意味合いのあるヨーロッパ発祥の行事であったそうです。

10月31日(木)当日出勤すると、第3病棟では猫耳や帽子で仮装した利用者さん・職員さんでいっぱい、何とも可愛らしい華やかな雰囲気でした。その日の昼食には、おいしそうなかぼちゃのプリンが付いてきて、皆さん大喜び。Happy halloween! の掛け声とクラッカーでいただきますの挨拶をして、にこにこ笑顔でパクパク食べていました。

今年第3病棟ではサツマイモやじゃがいも、パッションフルーツなどたくさんの家庭菜園を楽しみ、本来の目的である作物を育て収穫する喜びも味わえた1年でした。

10～12月の院内研修

研 修 会	テ ー マ	開 催 日
院内感染予防対策研修会	「結核」 “療育センターで働く我々が知っておくべきこと”	11月6日 18日 28日 12月3日
医療安全管理・医薬品安全管理研修会	○医薬品の安全管理 ○医療トラブルへの対応 (医療ADRを知っていますか)	(9月11日) (17日) (25日) 10月1日
メンタルヘルス・ケア研修会	職場のメンタルヘルス	10月31日 11月6日 14日 22日
障害者虐待防止研修会	障害者虐待の防止と対応	10月29日 11月1日 7日 13日

第 2 回テーマ別改善運動 (QC 活動) 院内発表会

開催日：11 月 5 日 (火)

第 2 回のテーマ別改善運動 (QC 活動) 院内発表会が、11 月 5 日 (火) に研修室で開催されました。テーマ別改善運動は職員の自主的活動で職員の意識改革や職場の活性化を促すことにより、患者さんが快く治療に専念でき、安心して納得できる医療が受けられる環境を実現することを目的に行われています。

今年の QC 活動への参加は、サービス向上をテーマとする 4 チームと経営改善をテーマとする 2 チームの参加がありましたが、院内発表会は都合により 4 チームの発表で行われました。

最優秀賞は、テーマ名「車椅子ファッションショーユニバーサルファッションと美の調和」が受賞いたしました。利用者サービスのさらなる向上を視点として、衣類や更衣に制約が多いという課題への取り組みが評価されました。なお、受賞者は 2014 年 1 月 29 日 (水) に都庁大会議場で行われる都のテーマ別改善運動合同発表会にセンター代表として参加いたします。



最優秀賞

「車椅子ファッションショー ユニバーサルファッションと美の調和」

車椅子ファッションショーチーム・第 4 病棟 看護師下見法子他

その他発表演題

「ハンドソープの使用状況の改善」

せっけん知らず SHA・事務部 事務高藤秀丞他

「各棟・通所に「Fish 活動」を導入して」

No Name Horses・看護部 指導員久野木昌黙他

「♪グリーングリーン窓の外にはララ緑が揺れる～」

看護部 QOL 向上委員会 Green Green の軌跡・看護部指導員高井直人他



車椅子ファッションショー開催とテーマ別改善運動の受賞をして

第4病棟看護師 下見 法子

昨年の秋のフェスタで、車椅子ファッションショーを職員・利用者さんの協力により開催させて頂く事が出来ました。

近年「ユニバーサルファッション」という言葉が誕生しました。人が皆、機能的で同じ服を着ていればそれは合理的かもしれませんが、人には個性があります。「かけがえのない人間になるためには常に人と違ってなければならない」、ココシャネルの言葉です。肌ざわり、色、デザイン…自分の好きで選んだ服は人とは違ったり、必ずしも合理的ではないかもしれませんが、それぞれの日常を豊かにしたり、楽しませてくれたりします。そんな服を誰もが楽しむ事が出来るようにと考えられたのが「ユニバーサルファッション」なのではないかと思います。

今回のファッションショーでは利用者さんからも笑顔がみられた事、たくさんの方々の協力によりショーが成功し、その結果テーマ別改善運動で受賞することができたことは本当に嬉しく、御協力頂いた事に深く感謝申し上げます。



クリスマス会

クリスマス会を終えて

第 1 病棟保育士 村上 英雄

今年度、クリスマス委員になることがわかった時から自分の中ではクリスマス委員がスタートし、昨年度のアンケート結果や世の中の動きからヒントを得るようにしてきました。今回は初の試みの内容やデザートなど全ての利用者が同じになるよう他の委員と一緒に内容と手作り感をテーマに考えていきました。

会は色付けした砂での文字アートからスタートし、デザートは「ヨナナス」で作ったスイーツや普



段食する機会が少ない飴「スイートリップ」をメニューにいれました。スライドショーではただ観る・聴くだけでなく画面に合わせ感覚刺激をプラス、物語の最後にはスクリーンが割れサンタが登場するというサプライズを入れてみたり、会の最後はフラッシュモブをしました。内容によって改善が必要なこともありました。少しでも思い出に残って頂けたら幸いです。ご協力頂いた皆様に感謝します。有難うございました。

クリスマス会

第 2 病棟保育士 加藤 美穂



第 2 病棟のクリスマス会は着物姿の美人司会者がみなさんを「お・も・て・な・し」させて頂きました。

今年度はクイズゲームに 20 年分のスライドショーと映像がメインなクリスマス会です。スライドに映るみなさん、とっても若いっ!! 自分が映ると「あー!!」と嬉しそうな声や笑顔。懐かしい写真のオンパレードに親御さんからは「やだー!!」なんて声も(笑) みなさん昔からとても素敵でした。

また、今回はご家族の方へサプライズ! も。利用者さんがサンタさんになり、ご家族の方へ手作りプレゼントを贈りました。喜んで頂けたでしょうか?

最後はお待ちかねのサンタさんとトナカイの登場です。メリークリスマス! のサンタさんの声と、トナカイがプレゼントを乗せたソリを引く姿に、みなさん本日 1 番の笑顔に。

イルミネーションよりも素敵な笑顔で今年最後の大行事は幕を閉じました。来年度も笑顔があふれる 1 年になりますように…



クリスマス会通所 2013 通所指導員 小田 由紀

クリスマスにはまだちょっと日がある 12 月 10 日 (火)。午前中は「浦島太郎・・・竜宮城へ戻る編」を演じました。

玉手箱を開けてお爺さんになってしまった浦島太郎とカメが、元に戻してもらうために竜宮城に向かうものの、年老いて前に進めない！すると色とりどりの魚に扮した利用者さんが自己紹介をしながら助けてくれて、無事竜宮城に到着。めでたく浦島太郎は、元の姿に戻ることができました。その間職員の踊りあり、歌ありの偽？ミュージカルでした。

皆さん、竜宮城がどこにあるか知っていますか？・・・そう、ハワイなんです！ってことでバイキングはハワイアンフードでした。皆さん目でも舌でも味わって、いつもと違うお食事に下鼓を打ちました。

午後は、昨年も来て頂いた Junco さんによるコンサート。素敵な歌声に皆さんうっとりの午後のひと時となりました。お忙しい中、事前アンケートにご協力いただいた御家族の皆さん、栄養科さん、ありがとうございました！





そよ風第 75 号

編集 院内報そよ風編集委員会
 発行日 平成 26 年 1 月 15 日
 発行 東京都立東大和療育センター
 東京都東大和市桜が丘 3 - 44 - 10
 ☎ 042-567-0222
 印刷 有限会社 はじめ印刷
 ☎ 042-560-3031

編集後記

今の季節は、クリスマス会が次々に開かれています。1 人 1 人が楽しめるように心をこめた会に毎年感動します。新しい年も 1 日 1 日を大切に過ごしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。(H.S)

今月の 4 コマ漫画はそよかぜくんの正月の様子です。皆さんにも思いあたる節があるのではないのでしょうか。食べすぎにはご注意ください。今年もそよかぜくんをよろしくお願いいたします。(S.T)